

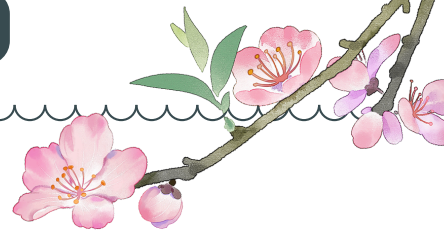
令和8年

4月

佐伯高校

全員主役!

No.24 地域支援員だより



Topics 1 卒業証書授与式＋写真展

3月3日(火)、佐伯高校で卒業証書授与式が行われ、24名の生徒が卒業しました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。送辞では、憧れの存在だった先輩方への思いと、部活動などで辛いときにも親身になって支えてくれたことへの感謝の気持ちが語られました。卒業生の答辞では、在校生へ向けて「残りの高校生活を悔いのないものにしてほしい」と、後輩たちを思う温かいメッセージが送られました。また、教室に戻った後には、担任の先生へサプライズの花束が贈られる場面もあり、終始温かい雰囲気包まれた一日となりました。さらに、地域支援員としてこの1年間撮りためてきた写真を使い、校内で写真展を開催。写真を見ながら当時の出来事を振り返る生徒や、その話を嬉しそうに聞く保護者の方々の姿も見られ、佐伯高校で過ごした時間の温かさを感じるひとときとなりました。卒業生の皆さんのこれからの活躍を、地域からも応援しています。



令和8年

4月

佐伯高校

全員主役!

No.24 地域支援員だより

地域連携



地域のオトナから学ぶワークショップ 第2回

2月21日(土)、中高生対象の「地域のオトナから学ぶワークショップ」の2回目が開催されました。今回は「人が集まる地域」をテーマに、IRIE-FARMの深瀬さんと寺子屋ランプの藤井ご夫妻をお招きし、吉和の食やコミュニティの場づくりについて、それぞれワークショップを行っていただきました。当日は和やかな雰囲気の中で、地域での活動についてや、自分自身や他者との関わり方について学ぶ時間となりました。地域で楽しく活躍する方々のお話を聞くことで、生徒たちにとって新たな発見や気づきのある機会となったことを願っています。



公営塾



公営塾に卒業生がサポーターとして参加

佐伯高校では、市が運営する無料の公営塾が開校されており、佐伯中学校と佐伯高校の生徒が参加し、日々の学習に取り組んでいます。教室には講師の先生のほか、大学生サポーターも参加しており、勉強についてはもちろん、進路や学校生活について気軽に相談することができます。3月9日(月)の公営塾には、昨年佐伯高校を卒業した先輩が、春休みを利用してサポーターとして参加してくれ、後輩たちに大学生活の様子を話したり、優しく勉強を教える姿が見られました。



SAEKI QUEST



友和小学生との交流に向けてプレゼン

3月10日(火)、アーチェリーと野球を広める探究活動に取り組んでいる生徒たちが友和小学校を訪問し、小学生にそれぞれの競技の魅力を経験してもらおう企画について、校長先生の前でプレゼンを行いました。友和小学校では、10月に地域での野外活動を計画しており、その時間の一部をお借りして交流の機会をつくる計画が進められています。今後、地域の学校同士がつながりながら活動が広がっていくことが期待されます。



卒業生

卒業生の体験を聴く会

3月13日(金)、「卒業生の体験を聴く会」が開催され、4名の卒業生がそれぞれ進んだ進路や高校生活の送り方について話してくれました。仕事の決め方については、業務内容だけでなく「人生の中で何を大切にしたいか」という視点から働き方を考えることも大切だという話がありました。また、高校生活については「1日ひとつの目標を持ち、毎日小さな達成を積み重ねてほしい」といったアドバイスも送られました。在校生は、先輩たちの言葉に真剣な表情で耳を傾け、積極的に質問する姿が見られました。

